

I 緑化樹木の生産・払出状況の概要

1 調査対象生産者数

当該調査の対象者は22生産者で、19産者から回答があった。

2 養成状況の概要

(1) 養成本数と産地別・樹種群別養成本数等の比率

ア 養成本数は、173千本で前年度に比べ29千本減少。

イ 産地別養成本数率は、道内 95 %、道外 5 % （前年 94%: 6%）

ウ 樹種群別の比率は、高木性 68 %、低木性 32 % （前年 70%:30%）

エ 針葉樹と広葉樹の比率は、それぞれ 41 %、59 % （前年 34%:66%）

(2) 養成本数の上位 10 樹種

多い順から アカエゾマツ、ニオイヒバ、エゾヤマザクラ、
ニオイヒバ(低木性)、トドマツ、アジサイ、ハルニレ、
シモツケ、グイマツ、ミズナラ。

3 払出状況の概要

(1) 払出本数と払出先別・樹種群別払出本数等の比率

ア 払出本数は、93千本で前年度に比べ8千本減少。

イ 払出先別払出本数率は、道内 93 %、道外 7 % （前年 97%:3%）

ウ 樹種群別の比率は、高木性 71%、低木性 29 % （前年 72%:28%）

エ 針葉樹と広葉樹の比率は、それぞれ 30 %、70 % （前年 28%:72%）

(2) 払出本数の上位 10 樹種

多い順から アカエゾマツ、エゾヤマザクラ、ヤチダモ、ナナカマド、
ミズナラ、グイマツ、トドマツ、ハルニレ
オオベニウツギ、ケヤマハンノキ。

※ 緑化樹木の生産・払出状況の詳しい内容は、次頁からの図表、統計表に掲載。